

大きくなって戻っておいで

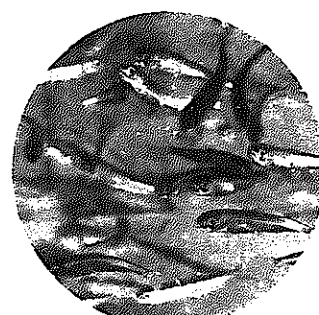
白根小5年生
サケ稚魚放流

三月十六日、白根小学校の五年生百二十六人が、中ノ川でサケの稚魚を放流。約二千匹が放されました。この稚魚は、昨年の十二月、子供たちが信濃川漁業協同組合から卵を譲り受けてふ化させたもの。教室に水槽を置いて、みんな育ててきたものです。「本当に育つかどうか不安だった」そうですが、水温管理したり、えさをやったりと懸命に飼育した甲斐あって、稚魚は立派に成長。体長五、六センチにもなりました。「無事、育ってくれてよかったです」と小林由季さん(五年四組)と漁協組合の氏田十三五組合長

理事も「これだけ太らせれば大したもの」と感心した様子で話します。

当日、子供たちは漁協組合の人たちと川へ出向き、「元気に放流」「行っちゃった」「元気でね」「戻っておいで」と、思い思いの言葉を口にしながら放された稚魚を見つめていました。

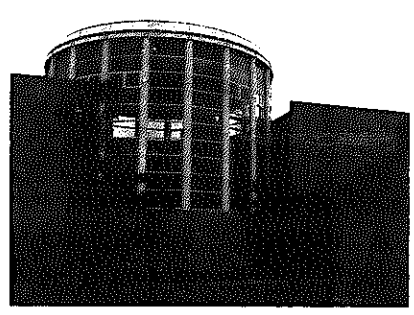
放された稚魚たちは二、三日掛かって河口に到着。水温が上がる五月ごろまで近海で過ごし、北洋へ旅立ちます。四、五年後、子供たちが中学を卒業するころには、立派な成魚となって戻ってくるでしょう。



われらの館、大いに盛り上げよう

大鳳と歴史の館を利用して、白根のまちおこしをしようという市民の集まり「しろね大鳳と歴史の館友の会」(高橋和人会長)が誕生。二月十八日に同館で設立総会が行われました。

発足のきっかけとなったのは、昨年の夏に行われた国際風フェスティバルインしろね。フェスティバル終了後、実行委員の中から「せっかくなので館だ。われわれ市民の力で大いに盛り上げようじゃないか」と声が上がリ、有志が集まりました。



しろね大鳳と歴史の館友の会



有志たちは、昨年十一月ころから設立の準備を開始。勧誘のチラシを配るなど、あちこちに呼び掛けて、二月までに十八人の会員を集めて発足しました。その後、新聞などでも紹介され、新潟市など市外からも申し込みがあり、現在、会員数は五十八人です。

会では事業として、館内の案内や風作り教室の手伝い、観光客への風揚げ実演などを予定。また「風以外でも、館のPRになれば何でも」と、コンサートや美術展なども積極的に誘致する方針です。

積極的な市民の動きに、しろね大鳳と歴史の館では「たいへん素晴らしいこと。館は市民の財産。大いに利用してもらいたい」と話しています。

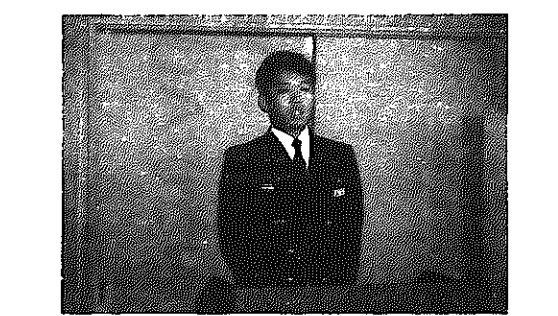
●しろね大鳳と歴史の館友の会
会長 高橋和人
会員数 58人(3月10日現在)
入会金 1,000円
年会費 1,000円
※入会の申し込みは、しろね大鳳と歴史の館(☎372・0314)へどうぞ。風を知らない人でも大歓迎。

日ごろの意見を堂々発表

白根地区消防本部
職員意見発表会

二月十七日、白根地区消防本部で、消防職員意見発表会が行われました。この意見発表会は、一昨年から行われており、今年で三回目。六人の消防職員が、日ごろ業務に携わって、感じたことや思ったことを発表しました。

今年、発表会が阪神大震災の直後に行われたことから、テーマの半数が阪神大震災に「救助隊員として、知識や技術だけでなく、人を救う気持ちが一番大切」など大きな災害の発生をきっかけに、もう



おやこ劇場 大通地域公演

押し入れって楽しいね



子供たちは公演にくぎづけ

三月五日、大通地域生活センターで黒埼おやこ劇場(篠原節子運営委員長)の地域公演が行われました。このおやこ劇場は、演劇を通じて子供の創造力を高めようというもので、公演が同センターで行われるのは今回で二回目。

「ひみつナイショおもしろいものがたり」と題したこの公演に、百七十人の親子が来場しました。物語は、押し入れに住む開かずの国にさらわれた「押し入れぼっこ」を子供たちが助け出すというもので、公演の中で、押し入れの中に入っている衣類を服に見立ててデパートごっこをするなど、押し入れを使った遊びを紹介。飛び入りで子供たちを参加させる場面もあって、子供たちはすっかり役になりきっていました。

来場した人は「テンホが早く、次から次へと人物が登場するので飽きませんでした。小さい子供にも分かりやすく楽しかったです」と話していました。



カルチャーセンター 初級テニス教室

二月九日から五回にわたって、カルチャーセンターで開かれた初級テニス教室。市民三十二人が参加し、汗を流しました。

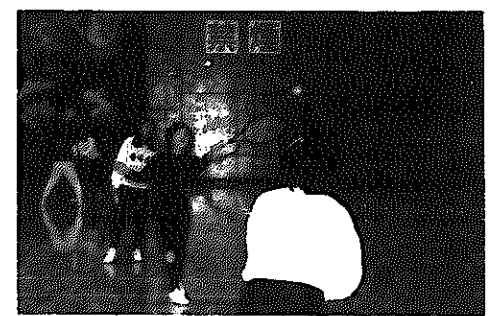
この教室は「テニスを覚えて健康づくりに役立ててもらおう」と、同センターが市テニス連盟の協力を得ながら毎年行っているもの。

「冬でも室内で楽しく学べる」と、参加者から好評の教室で、今回で四回目を迎えました。初級者が対象とあって、基本練習が中心。二人一組でゆったりボールを打ち合ったり、フットワーク練習をしたり。館内にはボールを打つ音が心地よく響いていました。

「軽い気持ちで参加しましたが、なかなか難しいです。テニスは奥が深いですね」と五十嵐政則さん(水道町)。「テニス連盟の人は親切で教え方も上手。また来年も参加したいです」とも。

教室終了後、一部の参加者同士では「自分たちのクラブをつくろう」という話もまとまり、「もっと練習して試合に出れるよう頑張ろう」と気運が高まりました。

今度は自分たちでクラブを作ろう



二月二十日から二十四日まで、白根郵便局コミュニティホールでサークルふきのとう(中山雅子代表)の白根絞り作品展が開かれました。

ホールに展示された作品は、浴衣やのれんのほか、ネクタイやブラウスなどさまざま。期間中には白根絞りの講習会も行われ、市内外から幅広い年代の人たちが参加。中には、初めて白根絞りを体験し、すっかり病みつきになって何点も作品づくりに励む人の姿も見られました。

講習会に参加した若い主婦は「白根絞りという名前は聞いていましたが、教わ

好評 初めての白根絞り

二月二十日から二十四日まで、白根郵便局コミュニティホールでサークルふきのとう(中山雅子代表)の白根絞り作品展が開かれました。

ホールに展示された作品は、浴衣やのれんのほか、ネクタイやブラウスなどさまざま。期間中には白根絞りの講習会も行われ、市内外から幅広い年代の人たちが参加。中には、初めて白根絞りを体験し、すっかり病みつきになって何点も作品づくりに励む人の姿も見られました。

講習会に参加した若い主婦は「白根絞りという名前は聞いていましたが、教わ

